

参考資料

令和4年度当初予算案における主要な施策

部 局 名
都 市 整 備 部

新規事業及び重要事業総括表

I 総額

【一般会計】

(単位 千円)

区分	令和4年度	令和3年度	伸び率
予算総額	21,785,768	20,205,198	7.8%
一般会計構成比	1.0%	1.0%	—

【埼玉県県営住宅事業特別会計】

(単位 千円)

予算総額	12,351,327	13,205,890	△6.5%
------	------------	------------	-------

【参考 公共事業の予算】

(単位 千円)

事業名	令和4年度	令和3年度	増減	伸び率
土地区画整理(補助)	235,211	345,989	△110,778	△32.0%
公園(補助)	2,752,351	257,756	2,494,595	967.8%
合計	2,987,562	603,745	2,383,817	394.8%

【参考2 13か月予算(2月補正(経済対策分)を加えた額)】

(単位 千円)

事業名	令和4年度	令和3年度	増減	伸び率
土地区画整理(補助)	247,989	807,989	△560,000	△69.3%
公園(補助)	2,805,909	3,121,215	△315,306	△10.1%
合計	3,053,898	3,929,204	△875,306	△22.3%

II 主な新規事業及び重要施策

(単位 千円)

1 魅力と活力にあふれる都市づくり

P 1 一部新規 大宮公園の魅力アップ

【公園スタジアム課】 80,000

P 2 県営公園整備の推進

【公園スタジアム課】 7,331,966 (一部再掲)

P 3 さいたまスーパーアリーナ・けやきひろばのバリューアップ

【都市整備政策課】 1,021,749

P 4 産業基盤づくりの推進

【田園都市づくり課】 2,007

2 災害に強く暮らしやすい都市づくり

P 5 一部新規 コンパクトで持続可能なまちづくりの推進

【市街地整備課・都市計画課】 24,380

P 6	つくばエクスプレス沿線地域整備の推進	【市街地整備課】	1, 591, 357
P 7	市街地整備事業の促進	【市街地整備課】	1, 480, 325
P 8	民間建築物の大規模地震対策の推進	【建築安全課】	184, 966
P 9	一部新規 空き家対策の促進	【建築安全課・住宅課】	22, 778
P 10	老朽化した県営住宅の建替え	【住宅課】	3, 180, 687

3 スマート技術による便利で快適な都市づくり

P 5	一部新規 コンパクトで持続可能なまちづくりの推進	【市街地整備課・都市計画課】	24, 380(再掲)
P 11	新規 県営住宅へのスマート&レジリエント機能の導入	【住宅課】	237, 245(一部再掲)
P 12	一部新規 県営住宅へのデジタル技術の導入	【住宅課】	23, 608(一部再掲)
P 13	新規 営繕工事等におけるICT化の推進	【営繕課・都市整備政策課】	4, 244

大宮公園の魅力アップ

担当 公園スタジアム課
公園企画担当

内線 5 4 1 1

1 目的

大宮公園は1885（明治18）年開園の歴史ある公園で、多くの来園者でにぎわう一方、公園施設の老朽化への対応、歴史的な自然や景観の維持が課題となっている。

大宮公園のポテンシャルを最大限に生かした取組により、公園の魅力を向上させることで、多くの人に訪れてもらう。

2 事業の内容

新 (1) 修景池のかいぼり実施

県民や民間企業等の多様な主体と協働で修景池のかいぼりを実施し水質を改善するとともに、これに併せて水際の改善・水草の植栽を行い水質維持につなげていく。

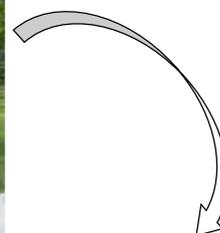
さらに、栈橋を整備することによって、ボート事業者を呼び込み修景池を中心とした賑わいの創出につなげる。



H30年度にアオコが大量発生



県民協働によるかいぼり



将来イメージ

(2) 大宮スーパー・ボールパーク構想の基本計画作成

大宮公園の魅力向上を呼び水に、多くの人に埼玉県を訪れてもらうため、競技施設を活用した「試合がある日もない日も楽しめる公園」の整備に向けた基本計画作成を行う。

3 令和4年度予算額 80,000千円

県営公園整備の推進

担当 公園スタジアム課
公園事業担当
公園企画担当

内線 5408、5411

1 目的

都市環境の改善や人々のレクリエーションの場の提供により、都市生活にうるおいと安らぎをもたらすとともに、災害時には避難場所、救援活動の拠点となる公園整備を進める。

2 事業の内容

主な公園整備の内容は以下のとおり

(1) 公園の拡張整備

さきたま古墳公園（行田市）において、拡張整備を推進する。



令和元年10月完成エリア

(2) 熊谷スポーツ文化公園へのデジタルサイネージ設置の調査・設計

熊谷スポーツ文化公園において、来園者へのおもてなし及びスマート化を推進するため、バス停留所へのデジタルサイネージ設置の調査・設計を行う。

(3) 埼玉スタジアム2002の大型映像装置更新

スタジアムの魅力を高め、良好な試合運営を図るため、南北大型映像装置・带状映像装置等の更新を行う。

3 令和4年度予算額 7,331,966千円

さいたまスーパーアリーナ・けやきひろばのバリューアップ

担当 都市整備政策課
企画・新都心事業調整担当
内線 5682

1 目的

さいたま新都心の中核施設であるさいたまスーパーアリーナは、東京2020オリンピックのバスケットボール競技会場となるなど日本を代表する大規模集客施設である。

今後も、そのブランド力の維持、向上を図るとともに利用者の安心・安全を確保するため、けやきひろばを含め、計画的な修繕を実施する。あわせて、カーボンニュートラルの実現に向け、温室効果ガスの削減に寄与する改修を実施する。

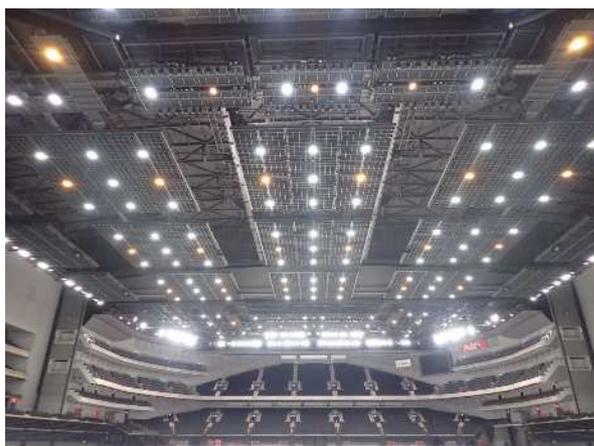
2 事業の内容

施設を健全な状態で維持するため、中長期修繕計画に基づく修繕を実施する。

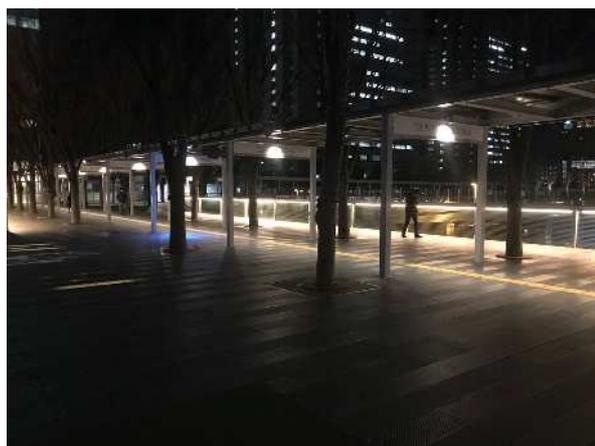
修繕計画の実施に当たり、温室効果ガスの削減を図るため、施設の照明設備をLEDに改修するとともに、今後の設備改修に向けた設計では、脱炭素化の観点で徹底した省エネ技術の導入に取り組む。

【主な修繕内容】

- ・ 照明設備のLED化
- ・ 排水設備用ポンプの更新
- ・ 可動機構及びエレベーター等の部品交換



さいたまスーパーアリーナの
照明LED化



けやきひろばの照明LED化

3 令和4年度予算額

1,021,749千円

産業基盤づくりの推進

担当 田園都市づくり課
産業基盤づくり支援担当
内線 5 5 4 5

1 目的

充実する広域幹線道路ネットワークを生かして、企業立地ニーズの受け皿となる産業基盤を創出する。

2 事業の内容

高速道路のインターチェンジ周辺や幹線道路沿線において、市町村が取り組む産業基盤づくりを積極的に支援する。

また、市町村と連携して開発ポテンシャルの高まる周辺エリアの乱開発を抑止する。

さらに、産業基盤を核とした企業と市町村、地域コミュニティの協働を支援することで、豊かな田園環境と調和し地域の持続的発展を実現する「未来を見据えた産業基盤」を創出する。

【市町村支援の内容】

3本の柱による産業基盤づくり支援

- ・ 有望候補地区掘り起し支援（構想策定支援）：取組のきっかけづくり
- ・ ファーストステップ支援（計画策定支援）：構想から計画段階へ道筋づくり
- ・ オーダーメイド型総合支援（事業化支援）：事業化に向け課題解決



インターチェンジ周辺での産業基盤整備イメージ

3 令和4年度予算額 2,007千円

コンパクトで持続可能なまちづくりの推進

担当	市街地整備課 企画・再開発担当
内線	5 4 2 3
担当	都市計画課 総務・企画担当
内線	5 3 3 7

1 目的

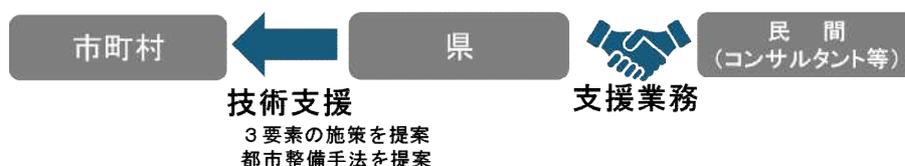
超少子高齢社会を見据え、それぞれの市町村の特性を生かし、県民一人一人が支え合い日常生活を心豊かで安心・快適に暮らせる持続可能なまちをつくり、「日本一暮らしやすい埼玉」の実現に向け市町村とともに取り組んでいく。

2 事業の内容

新 (1) 埼玉版スーパー・シティプロジェクト*の加速化

民間のノウハウおよび情報収集力を活用して、コンパクト・スマート・レジリエントの3要素に係る施策及び都市整備手法等について検討し、市町村への技術支援を行う。

* コンパクト（必要な機能が集積しゆとりある魅力的な拠点を構築）、スマート（新たな技術の活用等による先進的な共助の実現）、レジリエント（誰もが暮らし続けられる持続可能な地域を形成）の要素を踏まえたまちづくりを市町村や民間企業等と共に取り組むもの。



(2) 立地適正化計画*作成の支援

コンパクトで災害に強いまちづくりを進めるため、「立地適正化計画」及びその計画に位置付ける「防災指針」を作成する市町村の支援を行う。

* 立地適正化計画：コンパクトシティの形成に向け、都市再生特別措置法に基づき市町村が作成する計画。令和2年の同法改正で防災の観点でのまちづくりを加速させるため「防災指針」が位置付けられた。

3 令和4年度予算額 24,380千円

つくばエクスプレス沿線地域整備の推進

担当 市街地整備課
八潮新都市等整備・区画整理担当
内線 5 3 7 8

1 目的

つくばエクスプレス沿線地域において、住工混在の解消と良好な住宅地の供給により、地域の活性化を図る。

2 事業の内容

つくばエクスプレスの開通に伴い、八潮駅周辺地域の都市基盤整備と良好な住宅地の供給を図り「活力と魅力あるまちづくり」を推進するため、施行面積99.1ヘクタールの土地区画整理事業を実施する。

【令和4年度の八潮南部西地区の主な事業】

- ・ 宅地の整地工事
- ・ 調整池の整備工事
- ・ 物件の移転補償
- ・ 保留地の販売



整備前



整備後

3 令和4年度予算額 1, 591, 357千円

市街地整備事業の促進

担当 市街地整備課
企画・再開発担当
八潮新都市等整備・区画整理担当
内線 5386、5425

1 目的

県民の安心・安全で快適な生活を確保するため、道路や公園等の都市基盤の整備が必要な市街地を土地区画整理事業や市街地再開発事業により計画的に整備し、良好なまちを形成する。

2 事業の内容

土地区画整理事業については、事業地内で都市計画道路等の整備を進める市や組合を支援することで、都市基盤の整備改善と良好な宅地整備を促進する。

また、市街地再開発事業については、駅周辺などの土地が有効利用されていない地区において、土地の高度利用を図り、都市機能を更新する。

- ・ 組合施行土地区画整理事業 羽生市岩瀬地区など2市2地区
- ・ 公共団体施行土地区画整理事業 和光市和光市駅北口地区など5市6地区
- ・ 市街地再開発事業 川口栄町3丁目銀座地区など2市3地区

<区画整理地に進出した商業施設>



羽生市岩瀬地区

<市街地再開発による整備イメージ>



<完成予想図>

川口栄町3丁目銀座地区

3 令和4年度予算額 1,480,325千円

民間建築物の大規模地震対策の推進

担当 建築安全課
 震災対策・構造指導担当
 内線 5 5 2 7

1 目的

震災時における被害の軽減と救命救急や物資輸送等の要となる緊急輸送道路のネットワークを確保するため、民間建築物の耐震化を支援する。

また、被災した建築物の余震等による二次被害を防止するため、被災建築物応急危険度判定活動が円滑に実施できる体制を整備する。

2 事業の内容

(1) 住宅・建築物の耐震化への支援

多数の者が利用する建築物及び緊急輸送道路閉塞建築物の耐震診断・改修工事費等に対し助成する。

助成対象※		補助率	限度額
多数の者が 利用する 建築物	診断	2/3	300万円
	設計	2/3	設計・工事併せて 1,300万円
	工事	23%	
緊急輸送 道路閉塞 建築物	診断	2/3～10/10	300万円～上限なし
	設計	2/3～10/10	設計・工事併せて 4,400万円～上限なし
	工事	2/3～9/10	

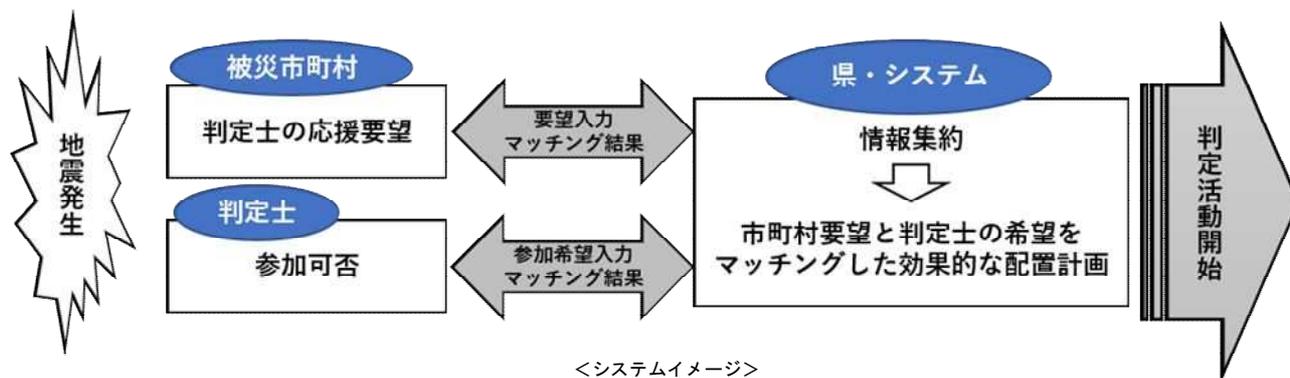


阪神・淡路大震災
 出典：(一財)消防防災科学センター

※ 対象地域はさいたま市及び11市(川越市、熊谷市、川口市、所沢市、春日部市、狭山市、上尾市、草加市、越谷市、新座市、久喜市)を除く全域
 11市については緊急輸送道路閉塞建築物に限り、一部助成あり

(2) 応急危険度判定体制の整備

被災市町村の要望と判定士の希望をマッチングするシステムを運用し、判定活動を円滑に実施する。



3 令和4年度予算額 1 8 4 , 9 6 6 千円

空き家対策の促進

担当 建築安全課 企画担当
内線 5 5 2 4
担当 住宅課 企画担当
内線 5 5 7 1

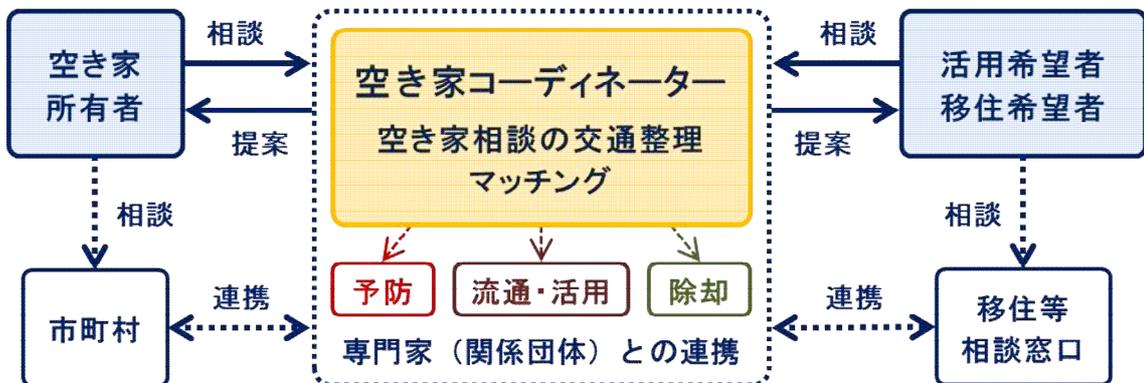
1 目的

市町村及び関係団体と連携し、「空き家にしない（予防）」、「空き家をつかう（流通・活用）」、「空き家をこわす（除却）」により、市町村の空き家対策を支援するとともに、県全体で空き家対策を促進する。

2 事業の内容

新 (1) 空き家コーディネーター活用事業

専門家を活用する「空き家コーディネーター」を配置し、空き家所有者や活用希望者等からの相談に対する助言・提案や、空き家所有者と活用希望者とのマッチングなどに対応できる体制を整備する。



(2) 空き家等対策促進事業

全市町村、関係団体及び県で構成する「埼玉県空き家対策連絡会議」を通じ、市町村及び関係団体との連携により、空き家の増加を抑制する取組を行う。

(3) 中古住宅流通・住み替え促進事業

空き家バンクや住み替え支援制度などの情報を発信し、空き家を含む中古住宅の流通や、県内への住み替えを促進する。

3 令和4年度予算額 22,778千円

老朽化した県営住宅の建替え

担当 住宅課
住宅経営担当
内線 5 5 6 9

1 目的

住宅に困窮する高齢者や子育て世帯などが安心して住むため、住まいのセーフティネットを確保する。

2 事業の内容

老朽化した県営住宅の計画的な建替えを行う。

	団地名	戸数
新規着手	上尾シラコバト団地（2期）、川口飯塚団地（1期）	151戸
継続事業	大宮植竹団地（4期）、行田門井団地（3期） 久喜青葉団地（4期）	233戸
事業完成	上尾シラコバト団地（1期）、入間霞川団地（5期） 加須北小浜団地（1期）	176戸



上尾シラコバト団地（1期・完成イメージ）

3 令和4年度予算額 3, 180, 687千円

県営住宅へのスマート&レジリエント機能の導入

担当 住宅課
住宅経営担当
内線 5 5 6 9

1 目的

県営住宅にスマート機能やレジリエント機能を導入することにより、地域のまちづくりに貢献する。

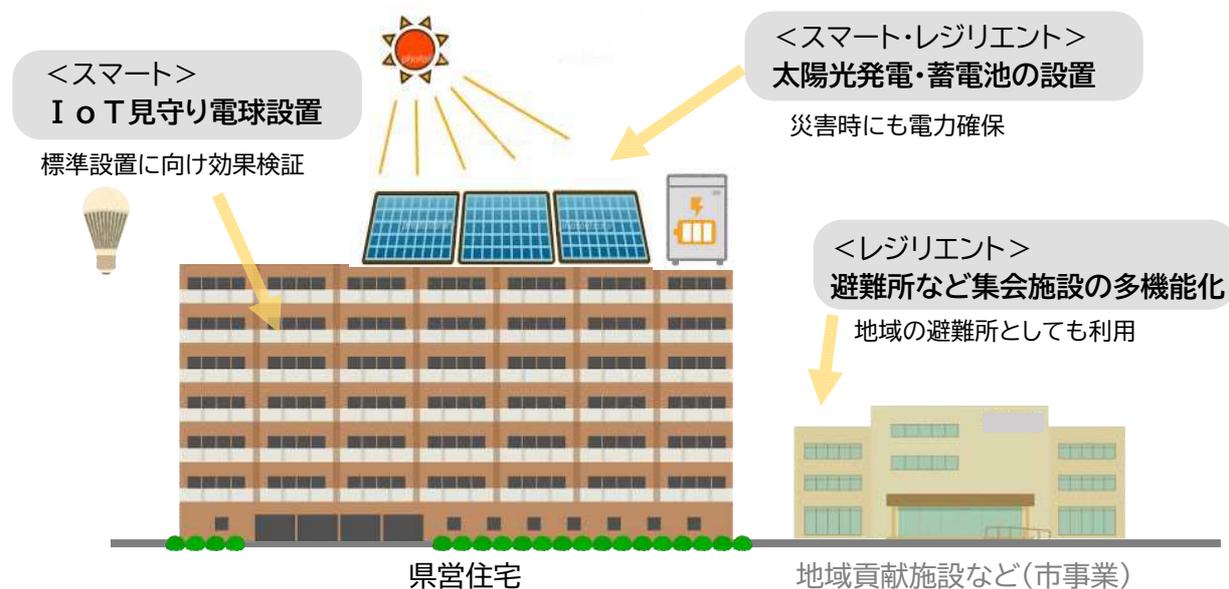
2 事業の内容

隣接する市営住宅と協働して老朽化した川口飯塚団地の建替えを行う。

太陽光発電及び蓄電池等の導入による再生エネルギーの利用効率化や災害時の電力確保、集会所利用や災害時の避難所利用など施設の多機能化について、隣接地で取り組む市事業との連携を進める。

	団地名	戸数
新規着手	川口飯塚団地（1期）	67戸

川口飯塚団地建替えイメージ図



3 令和4年度予算額 237,245千円

県営住宅へのデジタル技術の導入

担当 住宅課
 県営住宅管理担当
 住宅経営担当
 内線 5 5 6 4、5 5 6 9

1 目的

書面でのみ取り扱っている県営住宅の入居申込みについて、デジタル技術を活用した申込手段を導入することにより、手続きの利便性を向上させるとともに、募集事務の効率化を図る。

また、上尾シラコバト団地内に整備する単身高齢者モデル住宅に、デジタル技術の活用により、入居者がお互いに見守る環境を整える。

2 事業の内容

新 (1) デジタル技術を活用した入居申込システム

スマートフォン等を利用してオンライン上で手続きを可能とするとともに、複雑な公営住宅制度をナビゲーションして入居手続きを容易にする。

【利用イメージ】

(例) 世帯構成×収入×
 間取り×希望エリア
 ×…を入力

検索

□入居可能住戸一覧					
No.	住宅名	間取り	家賃	…	…
1	〇〇住宅	2DK	26,700円	…	…
2	▲▲住宅	2DK	27,000円	…	…
3	△△住宅	2DK	28,000円	…	…

(2) デジタル技術を活用した高齢入居者相互による見守り

上尾シラコバト団地内に整備する単身高齢者モデル住宅において、入居者が集う共用リビング内に異変等を知らせる表示板を設置することで、入居者同士の見守り体制を支援する。

3 令和4年度予算額 23,608千円

営繕工事等における I C T 化の推進

担当	営繕課 総務・企画・建築技術担当
内線	5 6 1 4
担当	都市整備政策課 企画・新都心事業調整担当
内線	5 3 2 6

1 目 的

営繕工事等における工事監理にデジタル技術を活用し I C T 化を推進することで、事務の効率化や工事の品質向上を目指すとともに、県内建設業の働き方改革や生産性向上につなげる。

2 事業の内容

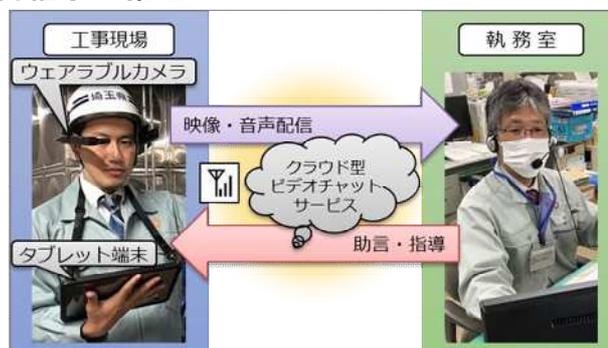
(1) 工事現場携行書類のペーパーレス化の徹底

担当職員にタブレット端末を貸与し、受発注者間での工事情報共有システム（A S P）の段階的活用等により工事現場への携行書類（仕様書等）のペーパーレス化の徹底を図る。

(2) ウェアラブルカメラ等を活用した技術継承の推進

ウェアラブルカメラ等を活用し、上司が職場にいながら現場での課題を直に確認し指示することで、若手職員等のサポートと迅速な意思決定を行う。

これにより、若手職員への技術の継承と技術力の向上を図る。



ウェアラブルカメラ等の活用イメージ

(3) 遠隔臨場や B I M* への適応支援

将来的な遠隔臨場の実施を見据え、ウェアラブルカメラ等を活用した現場確認に受注者も臨場し、県内建設業の I C T への適応意識を啓発する。

また、発注機関の B I M 利用環境を整備し、県内建設業や市町村の I C T 化を支援する。

* B I M (Building Information Modeling) : 建物の 3 D 形状と部材・仕上げ等の属性情報を併せ持つ建物情報モデルを構築するもの

3 令和 4 年度予算額

4, 2 4 4 千円